流れ藻観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

20250222

観測期間：2025年2月19日～21日
観測船：南星丸
観測海域：北部薩南海域

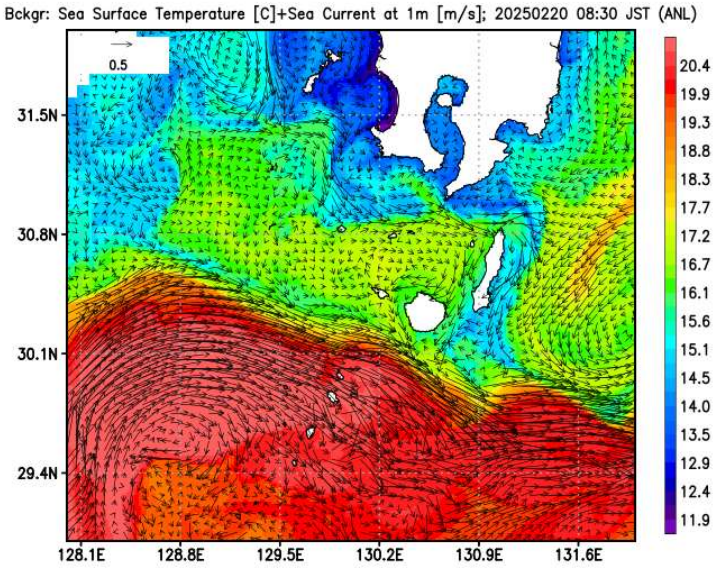

図1．　鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル（DR_E）における流れ（矢印）および海表面水温（赤～紫）の2月20日の結果（ホームページより引用）．

解説

鹿児島大学水産学部では，薩南海域へ来遊する流れ藻の漂流予測を目指した研究を行っている．モジャコ漁の漁期前・漁期中において，薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため，鹿児島大学練習船南星丸を使って，北部薩南海域（鹿児島湾口部）の流れ藻観測を2月19日～2月21日に実施した．

観測期間中，黒潮はトカラ海峡を西北西から東南東に向かって流れ，屋久島の北西沖に黒潮由来と考えられる暖水塊が確認された．DR_Eでは明確な黒潮フロントが見られると共に，鹿児島湾口部付近にも暖水と冷水のフロントが見られた．

北部薩南海域において流れ藻観測を行ったところ，黒点部分において流れ藻が発見された．

観測中，硫黄島西部（図2：2/20赤点）において潮目とみられる場所を発見し，小規模な流れ藻集群を確認した．その海域において採集した流れ藻4.5kgからは2～3cmのモジャコが6個体確認された．

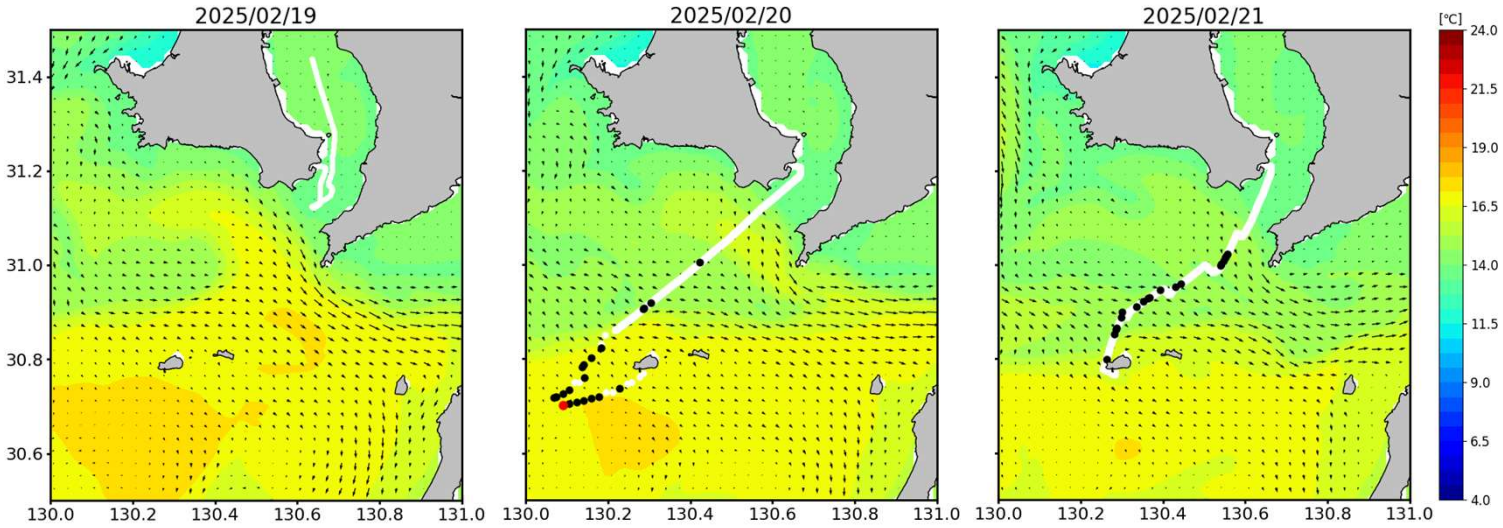
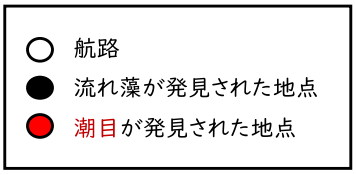
図2．　鹿児島大学練習船南星丸による流れ藻観測結果．黒点部分にて，流れ藻が発見された．